

「これからの学校のあり方審議会」について

1 審議会設置の趣旨

飯田市の学校を取り巻く教育環境の変化への対応に必要な方策を調査審議するため、飯田市これからの学校のあり方審議会条例（以下「条例」という。）に基づき設置するもの。

2 審議会委員について

条例第4条の規定に基づき、学識経験を有する者、まちづくり委員会を代表する者、教育に関する事業又は活動に携わる者、学校に通学する児童又は生徒の保護者を代表する者、飯田市の区域に存する保育所又は認定こども園に通所する児童の保護者を代表する者より任命。

○委員名簿（敬称略）

氏名	区分	所属等
後藤 正幸	学識経験者	前信濃教育会会長
坂野 慎二	学識経験者	玉川大学教育学部教授
井出 隆安	学識経験者	前杉並区教育長
田添 莊文	学識経験者	前竜丘公民館長
渡邊 嘉藏	まちづくり委員会	丸山まちづくり委員会会長
大場 孝	まちづくり委員会	東野まちづくり会議会長
小澤 克平	まちづくり委員会	千代地区まちづくり委員会会長
玉置 洋一	まちづくり委員会	南信濃まちづくり委員会副会長
小林 正彦	飯田市校長会	浜井場小学校長
湯本 正芳	飯田市校長会	緑ヶ丘中学校長
山浦 貞一	飯田市公民館	上郷公民館長
山崎 久孝	飯田市PTA連合会	遠山中学校PTA会長
河合 一磨	飯田市PTA連合会	松尾小学校PTA副会長
齊藤 達也	飯田市保育園保護者会連合会	鼎みつば保育園保護者会長
下平 雅規	飯田市私立認定こども園保護者会等連合会	勅使河原学園保護者会長

3 第1回審議会について

令和5年5月25日に第1回審議会を開催。任命書の交付、正副会長の選出、諮問を行ったほか、これまでの取組経過と今後のスケジュール案等について報告・説明した。会議資料及び会議録は後日飯田市公式ウェブサイトに掲載予定。

4 今後の予定

令和5・6年度に審議会を開催し、答申をいただいた後、基本方針（案）を策定。基本方針（案）について広く市民の意見をいただき、意見を踏まえて基本方針を決定する。

飯田市これからの学校のあり方審議会会長 様

飯田市教育委員会

飯田市の学校を取り巻く教育環境の変化への対応に必要な方策について（諮問）

このことについて、下記のとおり諮問します。

記

1 趣旨（諮問内容）

飯田市教育委員会では、教育ビジョンとして「地育力による 未来をひらく ころ豊かな人づくり」を掲げ、市内 28 校の小中学校において、6 年間にわたる飯田コミュニティスクールや 12 年間にわたる小中連携・一貫教育の取組を重ねてきました。これまで地域とともに進めてきた取組は、子どもたちの健やかな成長やふるさと意識の醸成に大きな役割を果たしてきています。一方、教育環境をめぐるのは、急激な少子化の進行による児童生徒数の減少や施設の老朽化という課題も生じています。

これらの背景を踏まえ、これからの時代の教育に対応したより良い教育環境づくりに向けた「これからの学校のあり方」についての基本方針を策定したいので、次の 2 点について審議会における調査・審議、提言をいただきたく諮問いたします。

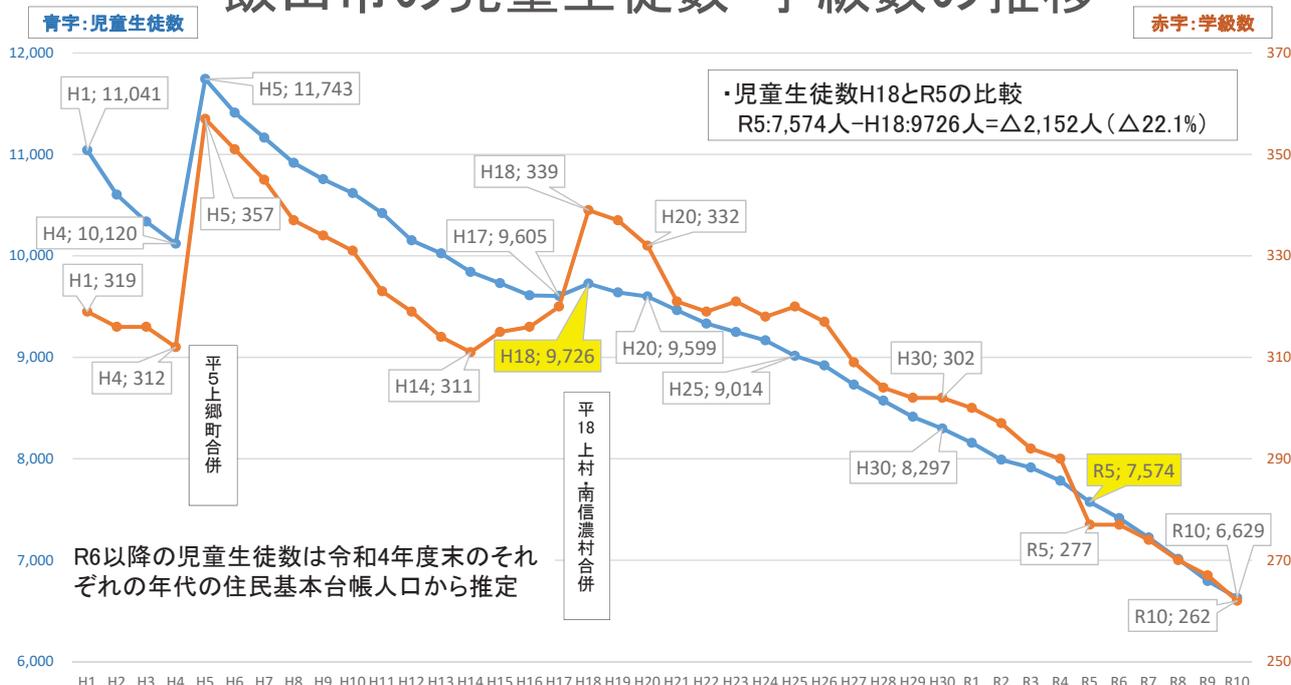
- (1) 飯田市立小・中学校のこれからの配置・枠組みのあり方について
- (2) 特色と魅力ある教育活動のあり方について

2 答申時期

令和 7 年 3 月末日までに答申をお願いします。

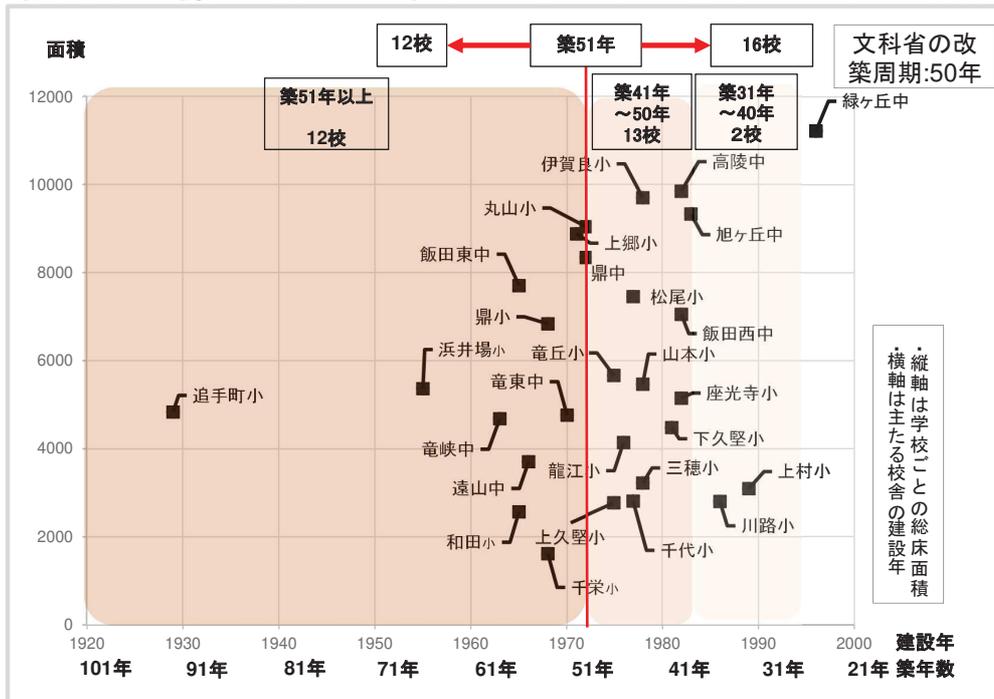
学校の教育環境の変化と課題

飯田市の児童生徒数・学級数の推移



- 少子化にともない児童生徒数が減少し続けており、このまま推移するとR5年からR10年まで毎年平均約190人ずつ減り、R10年はピークのH5年の約6割になることが予測されます。
- 児童生徒数の減少により小規模校が増えて、教職員数も減少していきます。一定の学級数を下回ると小学校では専科教員が配置されないことや、中学校では全ての教科に専任教員を配置することができなくなります。

学校別整備状況分布(主たる校舎の建築年・令和5年度現在)



- 小中学校28校(小学校19校、中学校9校)のうち、3分の1以上の12校が令和5年度時点で国の改築目安とされている築後50年を経過し、今後10年間の内には、さらに13校を加えた合計25校が長寿命化のための大規模改修や改築についての検討が必要な状況となります。
- 学校施設を長寿命化せずに、現在の学校数のまま修繕・改築していく場合は、今後40年間にわたって毎年多額の費用が必要になり、教育関連事業の実施に多大な影響を及ぼすことになります。

小中学校が果たす役割は

子どもにとっての学校

全ての子どもが自立して社会で生き、個人として豊かな人生を送ることができるよう、その基礎となる力を培う場であり、子どもたちの豊かな学びと成長を保障する場

地域にとっての学校

地域コミュニティの拠点であり、地域の将来の担い手となる人材を育成する場

あり方検討の柱とするテーマ

特色と魅力ある学校づくり

中学校区ごとにめざす子どもの姿を描き出し、学校・家庭・地域が協働して進めていく9年間の特色ある教育活動のあり方を明らかにする

学校の配置・枠組み

少子化と施設の老朽化に伴う課題を乗り越えて、小中一貫の特色ある学びが行える学校の構成や仕組みのあり方を明らかにする



これからの学校のあり方 方針

検討を進めるうえで大切にしたいこと

子どもたちが、確かな学力と生きるための力を身につけることができる教育環境であること

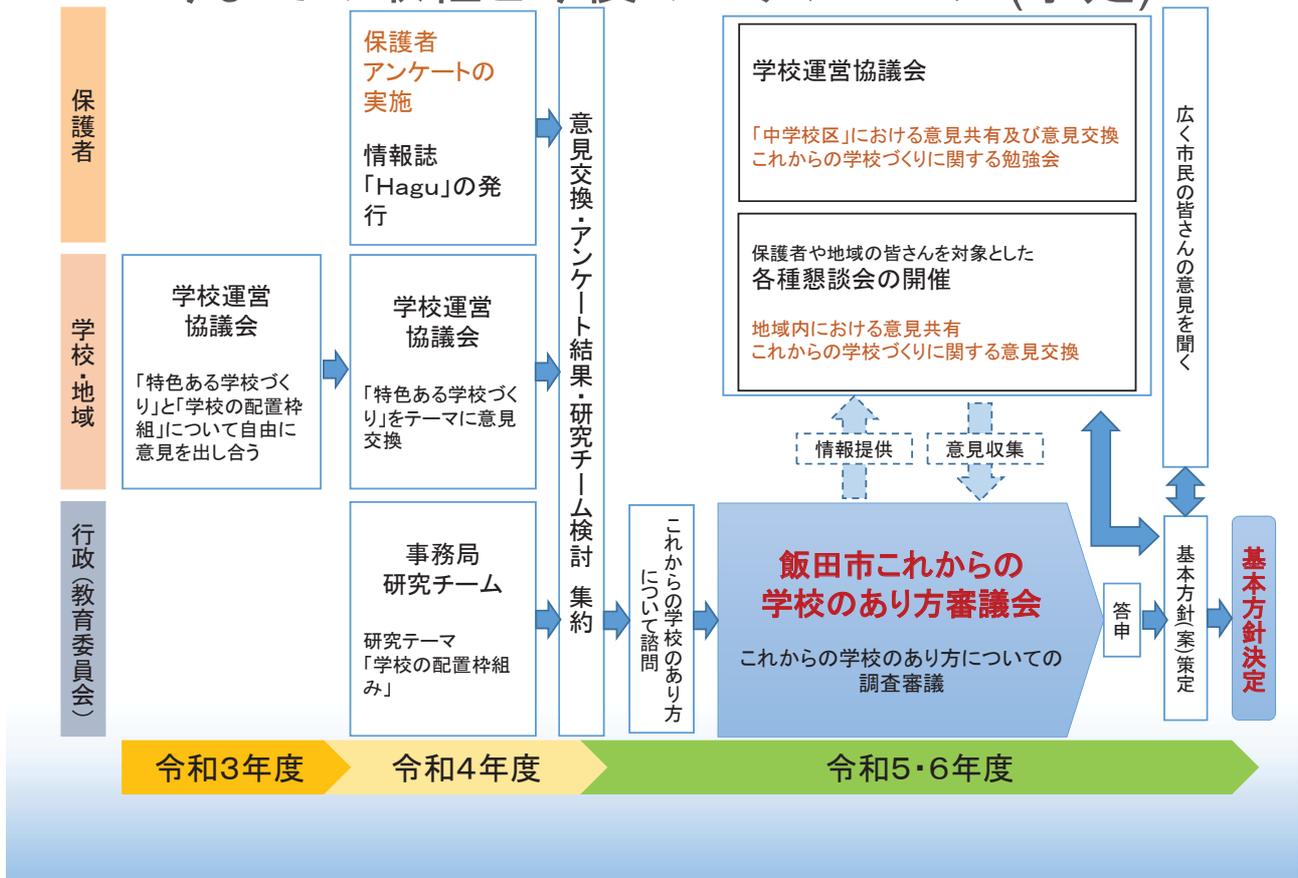
地域とともに歩む、飯田コミュニティスクール（※1）や小中連携・一貫教育（※2）の特色を生かした学校づくりであること

将来この地域の担い手となる子どもたちのために、子どもたちが主役となる学校づくりであること

※1 飯田コミュニティスクール 学校運営協議会を置いて、家庭、地域、学校が“めざす子ども像”を定め、そのめざす子ども像に向かって、三者が相互に承認・評価し合い、地域住民が積極的に学校の活動を支援し協働していく飯田ならではの学校のしくみ。

※2 小中連携・一貫教育 小中学校が互いに情報交換や交流を通じ、小学校から中学校への円滑な接続をめざすとともに、めざす子ども像を小中学校が共有して、子どもたちが9年間を通じて系統的な学びを行えることを重視した教育。

今までの取組と今後のスケジュール(予定)



○令和5年度審議スケジュール

回	日時 (予定)	内容 (予定)
1	5月25日(木) 19:00~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 任命書の交付 審議会について 諮問 学校の教育環境の変化と課題 令和2年度からの検討経過 審議スケジュール(案)について
2	7月27日(木) 19:00~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの結果について 学校・学級の適正規模について 特色ある学校づくり・魅力ある教育活動について
3	9月27日(水) 19:00~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 坂野委員、井出委員からの事例報告 飯田市の小中連携・一貫教育について 諮問内容についての審議等
4	11月22日(水) 19:00~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 諮問内容についての審議等
5	1月23日(火) 19:00~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 諮問内容についての審議等
6	3月19日(火) 19:00~20:30	<ul style="list-style-type: none"> 諮問内容についての審議等

※令和6年度も年5~6回程度の審議会を予定しています。
 ※現時点での予定ですので、変更が生じる場合があります。